



友渕小学校

(本校)		(分校)	
所在地	〒534-0016 都島区友渕町 1 - 3 - 123	所在地	〒534-0016 都島区友渕町 1 - 3 - 187
電 話	06-6921-3700	電 話	06-6921-2011
F A X	06-6925-3968	F A X	06-6921-4200
H P	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e521038 ※「大阪市立友渕小学校」で検索してください。		
校長名	新 健太郎	その他	標準服有り



本校は、昭和56年に創立され、令和2年には40周年を迎えるなど、成り立ちから現在に至るまで、着実に歩みを刻んできました。1400名以上の児童が在籍しており、大阪市内では珍しく、本校・分校がある学校です。1・2年生が分校、3～6年生が本校で学習しています。子どもたちは明るく、元気いっぱい学習や運動に励んでいます。

教育目標に「自ら学びよく考える子」「豊かな心をもち仲よくする子」「健康でたくましい子」を掲げ、知・徳・体のバランスがとれた人材の育成をめざしています。地域の方々にはあたたかく子どもたちを見守ってくださっており、保護者・地域・教職員が手を携えて、子どもたちを健やかに育てています。

校長 新 健太郎

● 「運営に関する計画」の概要

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合の84%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の56%以上にする〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を96%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	算数
73	72

○結果の概要

国語科は5.7ポイント、算数科は8.6ポイント、全国平均正答率を上回った。国語科は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」領域が、全国平均を大きく上回った。ほとんどの領域で全国平均を上回ったが、「書くこと」は、全国平均を下回り、課題が見られた。算数科は、全ての領域で全国平均を大きく上回る結果となった。

取組の成果と課題、アクションプラン

知識・理解を深める学習を進めていること、自主学習の習慣が定着していること、家庭での支援が充実していることにより、知識量が豊富になり、理解力が高まっている。しかし、「読む」力は高いが、「書く」と「話す」力に課題が見られ、インプットした内容をアウトプットすることに苦手意識があると考える。獲得した知識をどのように言葉や文章で表現し、活用させていくのが課題である。

国語科、算数科ともに根拠や理由を明確にして、自分の考えを説明したり

書いたりすることができるように、様々な学習形態を多く取り入れ、授業の充実を図っていく。また、体験して学ぶ活動や生活場面に直結するような学習を多く取り入れることで、学習で身につけた知識、導き出した自分の考えを活用して書いたり話したりするなど、表現できる経験を積み重ねていく。

校内研究「自ら進んで学び続ける子どもを育てる—自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!—」という主題のもと、自ら学ぶ力（課題発見・解決）、自己調整力（計画・ふり返り・調整）、対話を通じた学び（考えを広げる力）、プレゼン力（考えを表現する力）などを「つきたい力」として設定し、児童の一人一人の力を引き出せるように学校全体で取り組んでいく。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

○種目別平均値

	握力	上 体 起 こ し	長 座 体 前 屈	反 復 横 と び	20m シャトルラン	50m走	立 ち 幅 と び	ソフトボール 投 げ	体 力 合 計 点
男子	15.44	19.29	31.19	39.27	50.46	9.55	149.83	20.56	49.2
女子	15.24	17.22	38.61	37.24	35.35	10.01	140.07	12.02	47.7

○結果の概要

体力合計点は、男女ともに全国平均を下回ったものの、男子については大阪市平均を上回った。男子は、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げの記録において大阪市平均を上回った。女子は、長座体前屈、反復横とびの記録において大阪市平均を上回った。

「1週間の総運動時間」においては、60分未満の児童の割合が男女ともに大阪市平均・全国平均より低く、平素から運動する児童の割合が高い結果であった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」における肯定的回答の割合は、男子が91.3%、女子は85.4%であり、男女ともに全国平均をわずかに下回ったものの、女子については大阪市平均を上回った。

取組の成果と課題、アクションプラン

体育科の授業では、様々な場の設定から、自分の学習の課題を選び、練習に取り組む学習を進めている。児童一人一人が課題を選ぶことで自分の力で達成できたことに喜びや達成感を得られる様子が多くみられた。成功体験を積み重ねていくことで学ぶ意義や価値を児童自身が実感し、意欲の向上につながっている。また、毎時間の学習で成果と課題を振り返ることにより、自分の達成度を確認するとともに、次時への目標設定ができるようにしている。今後も引き続き児童が運動への興味・関心をもち、意欲が高まる体育科の指導内容を工夫する。さらに、全校で取り組んでいる「なわとび週間」や「かけあしタイム」などの体育的行事や取り組みを継続して実施していく。

● 休日行事等の内容 ※状況により日程変更や中止する場合があります

5月17日（土）土曜授業 引き渡し訓練

10月26日（日）運動会

1月31日（土）土曜授業 作品展

【学力と体力の状況調査については16ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】



大阪市立友渕小学校

学校教育目標

自ら学び
よく考える子

豊かな心を持ち
仲よくする子

健康で
たくましい子

1 本校・分校という環境を生かした教育活動

全国でも有数の児童数を有する大規模校です。本校（3～6年）と分校（1～2年）に分かれています。普段は、別々の校舎で過ごしている分だけ1年生を迎える会や運動会、卒業生を送る会など、高学年と低学年とが交流する機会をととても大切にしています。代表委員が中心となって運営を進め、楽しく思い出に残るものになるよう工夫をこらしています。



2 多彩なクラブ・委員会活動

クラブや委員会も様々な活動を行っています。クラブ活動は、陸上／運動・サッカー・ソフトボール・ドッジボール・テニス・バスケットボール・バドミントン・文学・工作・折り紙・ぬり絵・習字・室内遊び・ダンス・音楽・卓球・科学・マンガ／イラスト・手芸・合唱・百人一首・タブレットなど22種類あります。委員会活動も、集会・運動・放送・栽培・環境・保健・給食・図書・新聞・掲示・生活・美化の12種類と代表委員会が別にあります。



3 PTA・地域の強力なバックアップ

PTAや地域の惜しみない支えがあるのも友渕小学校の特徴です。毎朝、子どもたちの安全・安心な登下校のため、PTAによる朝の交通立ち番活動や地域の方々による見守り隊活動が行われています。



学校図書ボランティア「よむとも」さんは、週2回昼休みの図書館開放や学校図書館の整備、充実に協力していただいています。



また、本校や分校の正門付近にある美しいPTA花壇を見てもわかるように、PTAの様々な委員会でも積極的に子どもたちのために活動してくださっています。

今後も地域・保護者とともに歩む学校運営を目指します。